

第 61 回 長野市公共交通活性化・再生協議会 議事概要

1. 日 時 令和 8 年 9 月 1 日（火） 午後 2 時から午後 3 時 10 分
2. 場 所 長野市役所第一庁舎 7 階 第一・第二委員会室
3. 出席者 委員 24 人、欠席 6 人、事務局職員 8 人、
パシフィックコンサルタンツ株式会社（第二次計画策定業務委託事業者）2 人
4. 次 第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 第二次長野市地域公共交通計画（素案）について
 - (2) 令和 8 年度 I C カード事業会計補正予算（案）について
 - (3) その他
 - 4 その他
 - 5 閉会

（議事概要）

3 協議事項

(1) 第二次長野市地域公共交通計画（素案）について

事務局から資料 1-1、1-2、1-3 を用いて報告 本件は了承された

[意見等]

(A 委員)

- ・ 資料 1-1 4 ページに中山間地域輸送とあるが、地域の費用負担はあるのか。

(事務局)

- ・ 地域住民組織がタクシー会社と契約している乗合タクシーとなっており、運行費は市が全て補助金として支出している。また、令和 9 年度からは中山間地域輸送システムを導入している全ての地域が市営バスに移行する予定である。

(A 委員)

- ・ ドライバーは住民組織の方が担っているのか。

(事務局)

- ・住民組織がタクシー事業者へ運行を委託しており、路線の開設、車両、ドライバーともに、タクシー会社が対応している。

(B 委員)

- ・資料 1-2 22 ページの公共交通のサービスレベルについて、バスの減便、廃線等があったにもかかわらず、青色の線（午前中に長野駅への往復ができるバス路線）が市域を網羅しており、サービスレベルが維持されていることに驚いている。事務局をはじめ、バス事業者やタクシー事業者等の協力が非常に大きかったと考える。
- ・現在長野市の人口は 35 万人で、総合計画の人口ビジョンでは 30 万人を死守するとしている。5 万人が減っていく中で、サービスレベルをいかに維持するかが課題である。
- ・人口は、市街化区域が 28 万人、市街化調整区域が 6 万人、残りが中山間地となっており、今後どこが減っていくかを考えなければならない。5 万人が減っていくとなると、運転士などの人的リソースや行政負担にも限界があり、市街化区域周辺のサービス水準を維持する手法について考える必要がある。

(事務局)

- ・人口減少が更に進むことに対しては、本市も重要な課題として捉えている。今までの行政や事業者任せという形ではなく、市民、事業者、行政の 3 者が公共交通を共有財産として支え育てることでサービスレベルの確保に繋がっていければと考えている。

(B 委員)

- ・交通事業者の皆様は、安全・安心という責任のもと運行をされており、持続性は強いと考える。ただ、高齢者が多い地域の住民主体の運行となったとき、持続性を保つのが難しいのではないかとと思われるので、方策を何か考えていただければと思う。

(C 委員)

- ・長野市内では鉄道事業者が 3 者運行しており、鉄道は長野市の公共交通として大きな役割を担っているが、計画にはバス路線の記載が多く、鉄道の記載は少ないと感じる。資料 1-1 の 8 ページにあるような、バスやタクシー事業者の事情というのは、鉄道事業者においても同じような状況であることを認識していただきたい。計画の構成として、鉄道にも目を向けてもらえればと考えている。

(事務局)

- ・鉄道も当然、主要な公共交通であり、計画の構成等を含めて検討させていただきたい。

(2) 令和8年度ICカード事業会計補正予算（案）について

事務局から資料2を用いて報告 本件は了承された。

[意見等なし]

(3) その他

[意見等]

(D 委員)

- ・表示が汚れて見えないバス停がある。どちらに連絡をすればよいのか。
- ・可能ならば、バス停から終点までどれくらいの時間がかかるか記載してほしい。

(事務局)

- ・バス停留所に関しては、バス事業者、市で対応するので、該当のバス停留所を教えていただければ、修繕させていただく。
- ・バスの時刻については、資料1-1の15ページに記載させていただいたが、「バス予報」のアプリがある。QRコードで読み込むと、すべての路線の時刻表と、現在のバスの位置が確認できる仕組みになっている。スマートフォンの扱いが慣れていない方にとって難しい部分はあるかもしれないが、紹介とさせていただく。

(D 委員)

- ・私もスマートフォンを使うが、高齢者には扱いが難しい。公民館で行っているスマートフォン教室等で講座を入れていただければと思う。

(事務局)

- ・スマートフォン教室、バスの乗り方教室等で周知を図っていこうと思う。
- ・YOUTUBEでも動画を配信している。情報としてお伝えさせていただく。

(E 委員)

- ・民生委員児童委員協議会で毎月定例会を行っているが、そのような場でチラシを配り、バス利用者、高齢者に周知を図っていくこともよいと思う。
- ・資料1-1の4ページに市バス、乗合タクシー等の記載があるが、乗車人数について、また、住民自治協議会との連携があるのかどうかについてお聞きしたい。

(事務局)

- ・乗車人数について、定時運行の市バスは大型車両で運行しており、AI オンデマンドバスについては、5 人乗りから 10 人乗りのサイズを用意している。
- ・導入にあたっては、各住民自治協議会と連携し、説明会等を開催している。

4 その他

(事務局)

- ・次回の協議会は 10 月下旬の開催を予定している。よろしくお願いします。